

令和 5 年度（令和 4 年度対象）

教育委員会点検・評価報告書

令和 5 年 9 月

新冠町教育委員会

目 次

1 はじめに	・・・・・	
(1) 趣旨	・・・・・	2
(2) 点検・評価の対象	・・・・・	
(3) 点検・評価の方法	・・・・・	
(4) 評価	・・・・・	
2 教育委員会の会議の開催状況及び付議案件	・・・・・	3
3 規則の制定	・・・・・	4
4 教育委員会委員の活動状況	・・・・・	5
(1) 令和4年度教育委員の活動の状況	・・・・・	
(2) 項目別点検	・・・・・	
①教育委員会による点検	・・・・・	
②視察・学校訪問	・・・・・	
③各種学校行事、会議、研修会等への参加	・・・・・	
④広報活動	・・・・・	
(3) 教育委員会表彰の実施	・・・・・	
5 教育予算状況（令和4年度当初予算）	・・・・・	7
6 施策・事業評価総括表	・・・・・	8
7 管理課所管の施策・事業の評価調書	・・・・・	11
8 社会教育課所管の施策・事業の評価調書	・・・・・	20
関係資料　・令和4年度　重点施策概要版	・・・・・	26

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織および運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられました。

事務の点検・評価は、教育委員会が事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対し説明を果たすことを目的としています。

(2) 点検・評価の対象

令和4年度教育行政執行方針に掲げられた主な施策等を対象としました。

(3) 点検・評価の方法

主な施策等に対する具体的な取組内容を、推進目標、目標達成に向けた計画、評価の視点、今後の課題と必要な取組にまとめ評価いたしました。評価は内部評価と、外部評価とし、関係機関から意見や助言をいただきました。

①推進目標

令和4年度の教育執行方針に基づき、点検、評価の対象となる主な施策の推進目標を示しております。

②目標達成に向けた計画

目標達成に向けた具体的な計画を示しております。

③評価の視点

目標達成に向け実施した事務事業の内容を示しております。

④今後の課題と必要な取組

施策の課題と今後に必要な取組を示しております。

(4) 評価

次の4点により評価し、記載しております。

- ・ A 計画どおり又は計画以上の成果が得られた
- ・ B 概ね目標は達成できた
- ・ C 課題を残し目標も十分達成できなかつた
- ・ D 検討段階で具体的な成果はなかつた

2 教育委員会の会議の開催状況及び付議案件

開催回数・期日	付 議 案 件 等
第 5 回 令和 4 年 4月 20 日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和 4 年度学級編制及び教職員数について ・令和 4 年度卒業奨学生の進路状況について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度新冠町奨学生の選定及び奨学金の額の決定について ・新冠町社会教育委員の委嘱について ・新冠町校務支援システム導入事業プロポーザル審査会設置要綱の制定について
第 6 回 令和 5 年 5月 25 日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る小学校及び認定こども園の臨時休業について
第 7 回 令和 4 年 6月 29 日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和 4 年第 2 回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・令和 4 年度学校閉庁日の設定について ・新冠中学校で発生した事故の対応について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度特別支援学級に就学を要する児童生徒について
第 8 回 令和 4 年 7月 27 日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和 4 年第 4 回新冠町議会臨時会に関する諸報告について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る教育委員会の対応について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・新冠町町外学生応援給付金給付事業実施規則の一部を改正する規則について
第 9 回 令和 4 年 8月 24 日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る認定こども園の臨時休業について ・8月 15 日から 16 日にかけての大雨にかかる朝日小学校の対応について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書の採択について ・新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について (協議) <ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度新冠町少年国内研修交流事業について
第 10 回 令和 4 年 9月 28 日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和 4 年第 3 回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る認定こども園の臨時休業について

開催回数・期日	付 議 案 件 等
第 1 1回 令和 4年10月26日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和5年度学級編制及び教職員数（見込み）について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る新冠小学校の臨時休業について
第 1 2回 令和 4年11月25日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和4年度決算審査の結果について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度新冠町教育賞及び教育奨励賞表彰の被表彰者の決定について
第 1 3回 令和 4年12月21日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和4年第4回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る認定こども園の臨時休業について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度特別支援学級に就学を要する児童生徒について
第 1 回 令和 5年 1月25日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和5年度学級編制及び教職員数（見込み）について
第 2回 令和 5年 2月22日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・新型コロナウイルス感染症対策にかかる新冠中学校の臨時休業について ・新冠町簡易水道漏水事故にかかる朝日小学校の臨時休業について ・令和5年度教育予算の概要について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度教育行政執行方針について
第 3回 令和 5年 3月 3日	(議案) <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度当初の教職員人事について
第 4回 令和 5年 3月22日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・令和5年第1回新冠町議会定例会に関する諸報告について ・令和4年度におけるレ・コード館の開館日について ・教育委員会事務局職員の人事内示について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・新冠町学校給食費の助成に関する規則の一部を改正する規則について ・新冠町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

3 規則の制定

規則の制定	<ul style="list-style-type: none"> ・新冠町町外学生応援給付金給付事業実施規則の一部を改正する規則について ・新冠町学校給食費の助成に関する規則の一部を改正する規則について ・新冠町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
-------	---

4 教育委員会委員の活動状況

(1) 令和4年度教育委員の活動の状況 ※教育長を除く

期日	活動内容	委員名
4月 4日(月)	教職員辞令交付式	全委員
4月 8日(金)	新冠小学校、朝日小学校、新冠中学校入学式	—
4月 20日(木)	第5回教育委員会	全委員
5月 25日(水)	第6回教育委員会	全委員
5月 30日(月)	新冠中学校体育祭	—
6月 4日(土)	朝日小学校運動会	—
6月 18日(土)	新冠小学校運動会	—
6月 29日(水)	第7回教育委員会	全委員
6月 29日(水)	第1回総合教育会議	全委員
7月 2日(土)	認定こども園ド・レ・ミ 運動会	—
7月 15日(金)	北海道市町村教育委員会委員研修会	小林、鈴木委員
7月 27日(水)	第8回教育委員会	全委員
8月 24日(水)	第9回教育委員会	全委員
8月 29日(月)	教育委員学校訪問 各小中学校、認定こども園	下山、鈴木、佐藤委員
9月 9日(金)	新冠中学校学校祭	—
9月 28日(水)	第10回教育委員会	全委員
10月 13日(木)	新冠町少年国内研修交流事業 参加者選考面接(～14日)	全委員
10月 19日(水)	新冠小学校学習発表会(～21日、学年別)	—
10月 22日(土)	朝日小学校学芸会	—
10月 26日(水)	第11回教育委員会	全委員
11月 3日(木)	新冠町功労賞・善行賞贈呈式	全委員
11月 19日(土)	認定こども園ド・レ・ミ お遊戯会(4、5歳児)	—
11月 25日(金)	第12回教育委員会	全委員
11月 25日(金)	第2回総合教育会議	全委員
12月 19日(月)	森みつ少年少女文芸賞2次審査	鈴木委員
12月 21日(水)	農水新冠賞審査	全委員
12月 21日(水)	第13回教育委員会	全委員
1月 8日(日)	教育賞・教育奨励賞・成人式	全委員
1月 18日(水)	農水新冠賞・森みつ少年少女文芸賞授与式(朝日小学校、認定こども園ド・レ・ミ)	鈴木委員
1月 22日(日)	認定こども園ド・レ・ミ お遊戯会(3歳児)	—
1月 25日(水)	第1回教育委員会	全委員
1月 30日(月)	教育委員学校訪問 各小中学校	全委員
2月 1日(水)	日高管内教育委員会教育長・教育委員研修会	下山・鈴木委員
2月 22日(水)	第2回教育委員会	全委員
3月 3日(金)	第3回教育委員会	全委員

3月 6日(月)	新冠町少年国内研修交流事業報告会	全委員
3月 15日(水)	新冠中学校卒業式	下山委員
3月 17日(金)	朝日小学校卒業式	鈴木委員
3月 22日(水)	第4回教育委員会	全委員
3月 24日(金)	認定こども園ド・レ・ミ卒園式	佐藤委員

(2) 項目別点検

①教育委員会による点検

教育委員会会議については、原則毎月1回として開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会があり、保育・教育に関する様々な案件について検討し議決しております。

②視察・学校訪問

新冠町教育委員会では、年間2回の学校訪問を行い、学校経営について、また、経営の進捗状況について、普段の児童生徒の学習の様子を視察するとともに、学校、認定こども園の設備等の状況について視察訪問しております。

③各種学校行事、会議、研修会等への参加

町内の小中学校、認定こども園の各種行事については、新型コロナウイルス感染症対策として、出席者を限定し開催されましたことから、一部を除いて各委員、教育長の参加を控えております。

また、各種会議・研修会に参加するとともに、定例会終了後に懇談を持ち、委員の資質向上に向けた取り組みを実施しております。

④広報活動

平成26年度より「まなびや」を発行し、学校教育に係る諸事業を広報するとともに、全国学力学習状況調査の結果、体力運動能力調査結果については町広報に掲載し、広く町民へ周知しております。

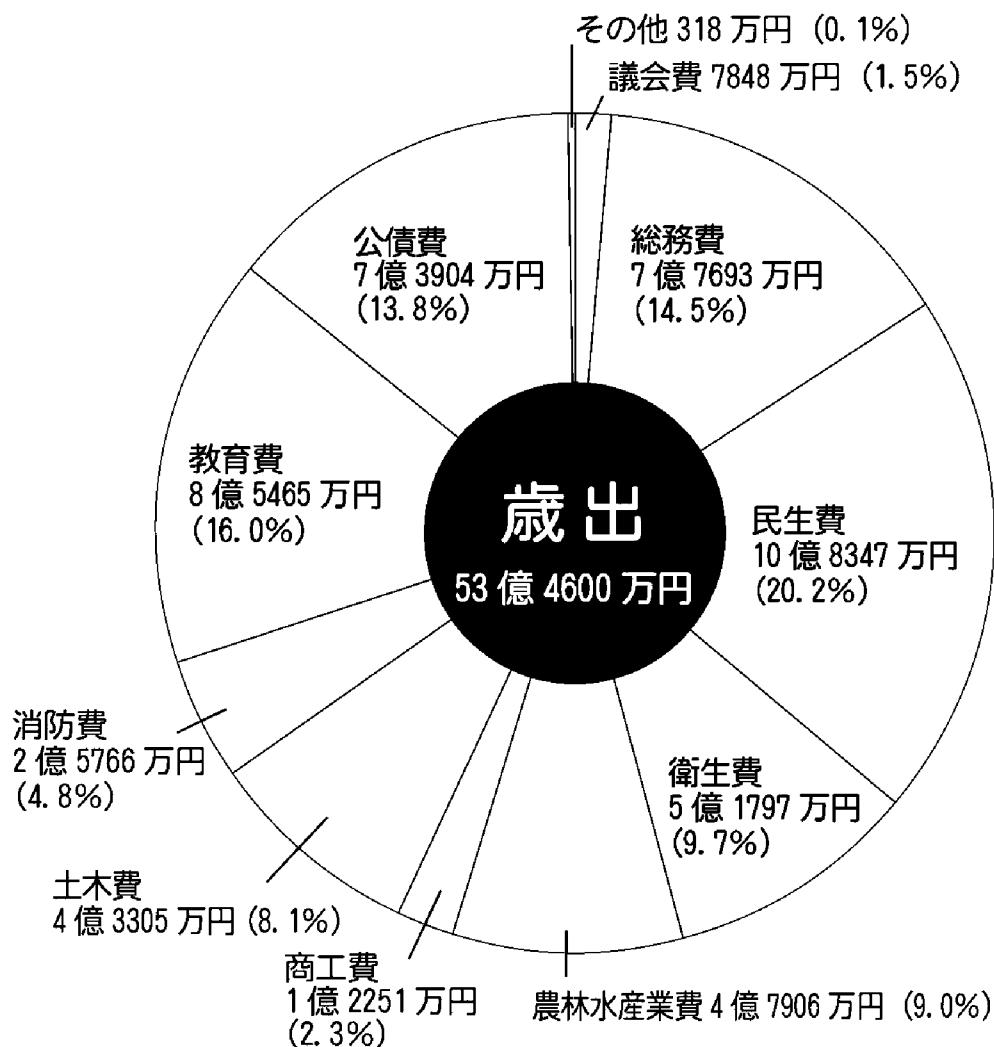
(3) 教育委員会表彰の実施

新冠町の教育・文化、スポーツ活動の振興発展に尽力し、その功績顕著な個人または、団体を表彰し、本町教育の振興発展を図る目的により、その栄誉を讃えております。

【令和4年度の受賞者】

- | | | |
|---------|---------|--------|
| ・新冠町教育賞 | 教育賞 | 2名 |
| | 芸術文化賞 | 1名 |
| | スポーツ賞 | 1名 |
| ・教育奨励賞 | 芸術文化奨励賞 | 1名 1団体 |
| | スポーツ奨励賞 | 3名 2団体 |

5 教育予算状況(令和4年度当初予算)



○予算（歳出）概要

(単位 千円)

款	項	金額
3 民 生 費	2 児童福祉施設費 (支援センター・児童館費分)	20,111
9 教 育 費		854,645
	1 教育総務費	169,190
	2 小学校費	71,224
	3 中学校費	41,352
	4 認定こども園費	234,172
	5 社会教育費	218,119
	6 保健体育費	57,732
	7 学校給食費	62,856
教育関係予算計		874,756

6 施策・事業評価総括表

令和4年度管理課所管の施策・事業の評価一覧

A 評価どおり又は計画以上の成果が得られた B 概ね目標は達成できた C 課題を残し目標も十分達成できなかつた D 検討段階で具体的な成果はなかつた

取組むべき主な施策	推進目標	ページ	内部評価	外部評価
1 確かな学力の向上	○主体的・対話的で深い学びへの授業改善 ○育てる資質能力を明確にした単元計画と指導過程の確立 ○接続・一貫を意識した教育課程の推進	11	B	B
	○ICT機器の効果的な活用 ○望ましい学習環境、生活習慣の確立	11	A	A
2 豊かな心と健やかな体の育成	○道徳教育の推進 ○生徒指導と教育相談の充実	12	A	A
	○読書活動の推進 ○体力向上策の推進 ○健康安全教育の充実	12	A	A
3 特色ある教育活動の推進	○総合的な学習の時間を活用したカリキュラムマネジメントの充実と探求学習の実践 ○社会科の授業を中心とした主権者教育の実践 ○発達段階に応じたキャリア教育の推進 ○新聞を活用した教育活動の推進	13	A	A
	○学校間における合同学習・交流事業の推進 ○地域の教育力を活用した活動の推進 ○郷土資料館と連携したふるさと教育の推進	13	A	A
4 特別支援教育の充実	○個別の指導計画・教育支援計画に基づく切れ目のない支援体制の確立 ○障がい種に応じた適切な教育課程の編成・実施	14	A	A
	○関係機関との情報共有による早期教育相談と支援体制の充実 ○就学・進学時の学校間引継ぎの円滑化と指導・支援体制の充実 ○指導・支援の向上を図る教職員研修の充実			

取組むべき主な施策		推進目標	ページ	内部評価	外部評価
5	信頼される学校づくりの推進	○校長を中心とした校内組織の強化 ○初任段階教員及び中堅教員等の育成研修の推進 ○幼小中一貫教育の推進 ○教職員の資質向上と服務規律の保持	15	B	B
6	教育環境の整備	○小学校統合に向けた小小連携の充実と準備委員会による計画の策定と推進 ○教職員の働き方改革への対応 ○町費教職員の活用による教育体制の確保 ○感染症対策の充実とICTを活用したリモート学習等の推進	16	B	B
		○学習環境の整備と充実 ○高等学校への通学支援の推進 ○義務教育施設の長寿命化計画の推進	17	A	A
7	認定こども園の教育・保育の推進	○接続を意識した幼児教育の充実	17	A	A
		○保育教諭研修の充実	18	A	A
		○適切な保育教諭の配置と教育保育環境の整備	18	A	A
		○子育て支援事業の充実	19	A	A

令和4年度社会教育課所管の施策・事業の評価一覧

A 評価どおり又は計画以上の成果が得られた B 概ね目標は達成できた C 課題を残し目標も十分達成できなかつた D 検討段階で具体的な成果はなかつた

取組むべき主な施策	推進目標	ページ	内部評価	外部評価
1 レコード館を中心とした社会教育の推進	○文化協会や関係団体との連携による文化・芸術活動の支援 ○音楽を活用した社会教育事業の推進 ○収集レコードの活用と関係機関と連携した館運営の推進 ○感染症対策に対応した事業活動の充実	20	A	A
	○社会教育施設の長寿命化計画の推進	21	A	A
	○小中学校の教育活動への積極的な係わり	21	A	A
2 社会体育の充実	○スポーツ協会と連携したスポーツ振興と団体支援 ○スポーツ推進委員と連携した軽スポーツの普及活動 ○健康を視点とした運動の充実 ○子どもの体力向上に資する取り組み強化	22	A	A
3 郷土資料館事業の充実	○学校との連携による学習機会の提供 ○新冠百話を利用したふるさと教育の推進 ○アイヌ文化学習会の開催 ○郷土文化研究会や関係者と連携した館運営の推進 ○収蔵資料における記録物資料のデジタル保存	23	A	A
4 図書プラザ事業の充実	○利用者ニーズの把握と利便性を重視した運営 ○各種企画事業の実施による図書プラザの利用促進 ○アニマル号の運行形態と利用拡大への工夫	24	A	A
	○子どもの読書習慣定着に向けた取組 ○学校図書室との連携	24	A	A
5 青少年教育の充実	○ふるさとを感じる体験型事業の推進 ○児童館機能を活用したクラブ・教室の各事業の機能充実 ○青年団体の組織強化と事業継続に対する支援	25	A	A
6 成人教育の充実	○ライフステージに応じた学習機会の充実 ○学校と連携した家庭教育事業への支援 ○保健福祉と連携した高齢者・女性への学習機会の創設	25	A	A

7 管理課所管の施策・事業評価調書

「生きる力を育む学校教育の充実」

(1) 確かな学力の向上

推進目標①	○主体的・対話的で深い学びへの授業改善 ○育てる資質能力を明確にした単元計画と指導過程の確立 ○接続・一貫を意識した教育課程の推進		
目標達成に向けた計画	・校内研修の充実、言語力の向上、小中連携 ・授業力の向上 ・外国語授業、ALTの活用、他教科での小中連携		
評価の視点	・各学校の教育課程編成に係るヒアリング及び教育委員学校訪問による学校経営における進捗状況把握 ・カリキュラムマネジメントの実践に基づく授業改善		
今後の課題と必要な取組み	・新学習指導要領における教育課程の深化 ・カリキュラムマネジメントに基づく授業改善 ・目的を意識した研修活動の実践		
内部評価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・カリキュラムマネジメントの実践により、新学習指導要領における主体的対話的で深い学びへの授業改善が推進された。一方で職員の一層の資質の向上や児童生徒の基礎学力向上及び主体的に学習に取り組む姿勢の育成に引き続き取り組んでいく必要がある。		
外部評価の内容	・学力向上に向け全教員による育成すべき資質・能力を考え研修活動が行われ、児童生徒一人一人に寄り添った教育活動が進められている。		

推進目標②	○ICT機器の効果的な活用 ○望ましい学習環境、生活習慣の確立		
目標達成に向けた計画	・個別最適な学びと協働的な学び、一人一台端末の活用実践 ・家庭との連携、社会教育事業との連携、家庭学習の習慣化、ゲーム・スマート時間等の約束		
評価の視点	・ICT機器を活用した、分かる授業づくりの実践 ・学習規律、家庭学習手引きの配布及び家庭と連携した工夫と活用 ・社会教育事業を活用した学習時間の確保と家庭学習の定着		
今後の課題と必要な取組み	・ICT機器を活用した授業づくりの研修・研究 ・コミュニティ・スクール推進による学校、保護者、地域、社会教育と連携した家庭教育力を向上させる取組の継続 ・放課後子ども教室の「子ども未来塾」やつうがく合宿事業等、社会教育事業との連携		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	・「個別最適な学び」に向けたICTの活用について、ICT推進委員会による研修・研究活動や各校が組織的に取組むことで各校における体制が一定程度確立された。また、一人一台端末を家庭へ持ち帰りによる家庭学習及び生活習慣の定着化に向け推進された。		
外部評価の内容	・ICT機器を先進的に導入・活用するなど、積極的な教育活動が推進されており大いに評価する。今後も更なる活用を望む。 ・家庭との連携や家庭学習の推進は難しい課題であり、引き続き呼びかけや新たな取組みによる推進を望む。		

(2) 豊かな心と健やかなる体の育成

推進目標①	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳教育の推進 ○生徒指導と教育相談の充実 ○健康安全教育の充実 		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方議論する道徳授業の実践、外部人材活用、校内・校外研修の推進 ・いじめ、不登校解消に向けた組織的な対応、ネットモラルの指導、連絡・相談体制の強化 ・感染症教育の充実、食育指導の工夫、危機管理体制、事故防止、初期対応、防災教育の推進 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の研修と管理職による授業参観による授業改善の推進 ・いじめアンケート実施結果を分析するなどの校内における早期対応と、町部局と連携した、問題行動、不登校の対応と取組の実践及び、保護者を含めたネットモラル教育の継続実施 ・情報発信による感染症対応の強化、町部局と連携した防災教育の実施 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方議論する道徳授業の更なる充実に向けた研修の継続実施 ・いじめアンケートの活用と全児童生徒を見守る校内体制との強化、及びネットモラル指導の継続実施 ・危機管理体制の一層の強化 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方議論する道徳授業の充実に向けた授業改善が推進された。生徒指導と教育相談については、校内における日常的な情報共有と関係機関との連携を組織的に取組むことで、問題行動や不登校の改善に繋げている。危機管理については、町部局と連携した一日防災学校を実施し防災教育の推進が図られた。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが元気で明るく挨拶をする様子から、道徳教育の充実を図り、子ども一人一人としっかりと向き合い、家庭との連携強化を図りながら進められていると評価する。 ・新型コロナウイルス感染症に対しては、安全・安心を第一に迅速な対応で学校活動に取り組んでいた。 		

推進目標②	<ul style="list-style-type: none"> ○読書活動の推進 ○体力向上策の推進 		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・校内一斉朝読書の推進、学校図書館・図書プラザの活用 ・体力運動能力調査分析と対策検討、目的を共有した一校一実践の取組 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の推進と図書プラザ及び読み聞かせサークルとの連携による計画的な読書活動の推進 ・体力運動能力調査の結果分析と授業改善 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の定着化に向けた計画的な取組みの継続的実施 ・体力向上プランによる1校1実践の取組みの継続的実施 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の取組みや読み聞かせサークルや図書プラザと連携した活動を通じ読書習慣の定着を図った。また、体力運動能力調査の実施と検証、1校1実践の取組み、日常における体力向上の取組みなど、体力向上策の推進が図られた。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・図書ボランティアの活用など外部の力を積極的に活用し、開かれた学校教育に取組み、児童の読書意欲を大いに育んでいる。 ・体力向上に向けては、町内各学校・こども園が統一したテーマで取り組んでいる等、町としての方向性が定まっている点を評価する。体力向上には時間を要することから、継続して取組まれることを望む。 		

(3) 特色ある教育活動の推進

推進目標①	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習の時間を活用したカリキュラムマネジメントの充実と探求学習の実践 ○社会科の授業を中心とした主権者教育の実践 ○発達段階に応じたキャリア教育の推進 ○新聞を活用した教育活動の推進 		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生と町長との町づくり懇談会 ・職場体験、地域の人材活用 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・町づくりへの、生徒からの質問や提案に答える町長との懇談会の実施 ・各教科及び特別活動での新聞活用 ・キャリアノートの活用と地域の人材・資源を活用したキャリア教育の推進 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関と連携した継続的な主権者教育の実施 ・生きた教材である新聞活用の推進 ・キャリアノート活用による小中の連続した教育の推進及び、関係機関との連携による地域の人材・資源を活用したキャリア教育の充実 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町長との町づくり懇談会では、事前準備も含め生徒が高い意識を持つことで主権者意識の向上が図られた。実施方法については、今後も更なる工夫が必要である。新冠中学校においては、学年毎にキャリア教育が実践され、2年生においては地域資源を活用した職場体験が行われている。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用したキャリア教育が推進されている。 		

推進目標②	<ul style="list-style-type: none"> ○学校間における合同学習・交流事業の推進 ○地域の教育力を活用した活動の推進 ○郷土資料館と連携したふるさと教育の推進 		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小・小小・小中連携や交流 ・学校運営協議会、外部人材活用、社会教育事業との連携 ・新冠百話の活用とアイヌ文化学習、ポロシリ生活館の活用 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校間の横の連携と小中間の縦の接続を意識した教育活動の実践 ・学校運営への参画と支援・協力の促進 ・郷土資料機能を活用したふるさと教育の実践 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中の接続と連携を意識した教育活動の継続的実施 ・コミュニティスクールによる学校支援の推進 ・郷土資料館など社会教育機能を活用した継続的な取組 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策により学校間交流等の制限がある中においても、感染対策に留意しながら令和6年度の小学校統合を見据えた交流授業や交流活動が実践された。また、郷土資料館など社会教育との連携により、ふるさと絵本や新冠百話、新設されたポロシリ生活館等を利用したアイヌ学習などふるさとの特色を持った教育活動の充実が図られた。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の施設を利用して、現実的な教育活動の推進を積極的に取り入れ、児童一人一人の考えを大切にした教育活動を展開した。 ・新冠小学校と朝日小学校の交流学習等が各学年で多く取り入れられ、統合に向けた取組みが具体化していた。 ・3校が積極的に交流している点が評価できる。 ・中学ギャップ解消に向け、小中学校が積極的に連携を図るなど、児童の側に立った取組みを評価する。 ・郷土資料館の学芸員に協力を依頼し、地域の歴史教育に力を入れ、ポロシリ生活館を活用するなど、地域に目を向けた教育活動の充実を図っている。 ・町発行の資料等を工夫しながら積極的に活用することを望む。 		

(4)特別支援教育の充実

推進目標	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画・教育支援計画に基づく切れ目のない支援体制の確立 ○障がい種に応じた適切な教育課程の編成・実施 ○関係機関との情報共有による早期教育相談と支援体制の充実 ○就学・進学時の学校間引継ぎの円滑化と指導・支援体制の充実 ○指導・支援の向上を図る教職員研修の充実 		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画、支援計画の共有化 ・関係機関との連携強化 ・校内研修の充実 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、支援計画の教職員への共有化 ・町子ども発達支援センター等関係機関との連携及び情報交流体制の充実 ・校内支援委員会の定期的な開催及び研修の実施 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有による早期の教育相談と支援体制の強化 ・幼小中の連携による一貫した教育的支援の継続 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な校内支援委員会の開催により、教職員全体で児童生徒の状況や支援体制の共有化が図られている。また、パートナーティーチャー等の外部人材の活用や新冠町発達支援センター等の関係機関との情報交流体制により、幼小中の一貫した教育支援への組織的な取組みが推進された。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども発達支援センター等町内の関係機関との連携が図られ、児童一人一人の指導目標が設定され、きめ細やかな指導が全職員共通で実施されている。 ・支援体制が構築され、保護者も児童生徒も安心して学べる環境が整っている。 		

(5)信頼される学校づくりの推進

推進目標①	○校長を中心とした校内組織の強化 ○初任段階教員及び中堅教員等の育成研修の推進 ○教職員の資質向上と服務規律の保持 ○幼小中一貫教育の推進		
目標達成に向けた計画	・経営ビジョンの明確化と具体的な方針・役割分担、検証サイクルによる学校改善強化、教職員の経営参画意識の醸成 ・指導主事の授業参観による指導助言の強化 ・研修会参加の奨励、公開研究会の奨励、研究指定校活用 ・経営ビジョンの共有と連携強化、合同研修会、教研協、接続を意識した連携、積極的な校種間交流		
評価の視点	・各学校の学校経営に係るヒアリングの実施 ・定期的な啓発と新聞記事等を活用した日常的な声掛けによる職員意識の徹底 ・I C T推進委員会や研究指定校など学校の主体的な調査研究への支援 ・指導主事及びミドルリーダーを活用した職員の育成 ・幼小中連携推進委員会、I C T教育、外国語等、新学習指導要領の対応と接続を意識した各種委員会の推進		
今後の課題と必要な取組み	・校長を中心とした組織活性化への継続的な取組 ・研究指定校制度の有効的な活用 ・法令遵守、服務規律の保持の継続的な取組 ・指導主事の専門性を活かした指導助言活動の推進と校内組織の活用 ・小中一貫教育に関する継続的な研究・研修活動の推進		
内部評価	B	外部評価	B
内部評価の内容	・校長の経営ビジョンの明確化と教頭のリーダーシップにより、個々の教員が参画意識をもって教育活動に取組む組織的な環境が推進された。また、日常の中で法令遵守と服務規律を呼び掛け意識の徹底を図るとともに、ベテラン教員の声掛けにより、若手教員が研修会や公開研に参加し、意欲的に学級経営や生徒指導にあたることで、資質・能		

	<p>力の向上が図られた。これらの取組みは今後も継続していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会及びコミュニティスクール推進委員会と学校課題への連携を確認し、幼小中連携会議をはじめとする各種委員会を開催し接続や連携を意識した運営が図られた。
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長を中心として、学校経営・運営計画の内容が全ての職員に浸透し、相互信頼の中で教育活動が積極的に実践されている。 ・学校運営協議会時の資料提示が適切であり、学校の現状把握等が速やかに理解できることで話し合いがスムーズに行われ、地域の学校としての意識向上に繋がっている。 ・学校祭や学習発表会等、コロナ禍での学校行事において、地域との結びつきを工夫されていることが評価できる。 ・学校運営協議会、コミュニティスクール推進委員会、学校など各種委員会を開催し、接続や連携を意識した運営が図られているが、協議内容の充実を望む。 ・幼小中一貫教育の推進に向け、引き続き研究・研修活動を行っていく必要がある。

(6)教育環境の整備

推進目標①	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校統合に向けた小小連携の充実と準備委員会による計画の策定と推進 ○教職員の働き方改革への対応 ○町費教職員の活用による教育体制の確保 ○感染症対策の充実とICTを活用したリモート学習等の推進 		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合に向けた交流学習及び交流活動の推進 ・校内組織による具体的改善策の検討と実践、勤務時間の把握と対応、校務支援システムの導入 ・朝日小複式改善と新冠小の授業改善への対応 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合に向けた計画的な取組み ・町費負担教諭配置による教育環境の充実 ・定期退勤日の設定と業務改善の意識化 ・消毒用品の配置、修学旅行等の支援、リモート機器の整備 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合に係る諸課題解決の取組み ・学校事情に対応した町費負担教諭の継続的配置 ・校務支援システムの導入と実行性のある働き方改革の取組の研究 ・管内状況等を踏まえた部活動対応の研究 ・感染症対策を講じた教育活動の充実 		
内部評価	B	外部評価	B
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に教育委員会、学校、PTAからなる学校統合準備委員会を設置し、3つの部会に分かれ課題に対してきめ細かく検討を進めるとともに、コロナの感染状況に影響を受けながらも小学校統合に向けた学年毎交流が実施できた。 ・継続した町負担教諭の配置により複式学級の解消など授業改善が図られた。働き方改革については、学校閉庁日や定時退勤日を徹底するなど組織的な取組みにより職員の意識も高まってきてはいるが、業務の効率化や改善など今後も継続して取組んでいく必要がある。 		

外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級解消等に向けた教育委員会の施策を評価する。 ・町独自に小学校へ巡回教諭を導入する等先進的に実施されている。 ・指導補助員等が多数配置され、きめ細かな指導を積極的に取り入れ教育活動を実施している。 ・ICT機器の先進的導入について大いに評価する。 ・学校職員の長時間労働に関して、国が示すような長期休業中に解消するのではなく、職員の体調等を考えることを優先して、働き方改革が推進されることを望む。
---------	--

(7)認定こども園ド・レ・ミの幼児教育・保育の推進

推進目標②	○学習環境の整備と充実 ○高等学校への通学支援の推進 ○義務教育施設の長寿命化計画の推進		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新ひだか町へバス通学する高校生への経費の負担軽減 ・義務教育施設の長寿命化計画の推進 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・新冠町教育施設個別施設計画の推進 ・学校と連携した施設及び機器整備の充実 ・新ひだか町の高等学校へバス通学する高校生の通学費助成制度の継続 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設整備の推進 ・学校へのヒアリングによる計画的な学習環境整備 ・継続した、通学支援の取組と検証 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・予算要望に係るヒアリングや各種会議、学校訪問等において、学校と教育委員会が情報共有を図りながら教育活動に必要な機器及び施設の整備を図った。今後は小学校統合後の課題として、新冠町教育施設個別施設計画に基づき、老朽化した学校施設の再整備に向けて検討を進めしていく。また、令和3年度に創設した高等学校通学費助成制度を継続することで通学費の経済的負担の軽減を図られた。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた計画に基づき取組みが行われ、成果が得られた。 ・通学に対する保護者への負担軽減と支援の継続を望む。 		

推進目標①	○接続を意識した幼児教育の充実		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムの編成と実施 ・小学校との連携 ・要支援児童の把握と早期対応 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に合わせた年間計画の作成・整備 ・年齢に合わせた体力作り、音楽事業等への取組み ・各小学校との連携事業への参加 ・支援が必要な家庭に係る関係機関との情報の共有と連携及び、北海道の事業を活用した園児に対する指導方法の確認 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の接続を意識した具体的な育成目標の設定 ・幼小中連携推進会議を活用した継続的な連携の推進 ・関係機関との連携・支援の推進・継続 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの主体性を重んじながら、信頼関係を築き、集団生活の中で社会性を育む取組が図られた。 ・幼小中連携推進会議等において情報共有や調整を行いながら、コロナ禍においても可能な範囲で小学校との交流事業が実施できた。 ・町保健師・発達支援センター等と隨時情報交換により、職員の専門性を深めると共に、援助・指導方法の検証による改善が図られた。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた計画に基づき取組みが行われ、成果が得られた。 ・お遊戯会などの行事の内容を変更していく場合には、保護者への十分な説明を望む。 		

推進目標②	○保育教諭研修の充実		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な研修派遣 ・園内・園外研修 ・関係機関との連携 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育に係る概論、教育・保育実技の指導に関する研修への参加及び、教育保育に係る課題や問題を設定した園内研修の実施 ・幼小中連携推進会議やパートナーティーチャー、専門機関からの助言 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な研修機会の確保と充実 ・保育教諭の研修意欲向上の動機付け 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育教諭個々の指導力向上を図るために、研修計画を作成し実施した。また、関係機関との連携やオンライン研修を積極的に活用し、研修機会の確保を図った。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた計画に基づき取組みが行われ、成果が得られた。 		

推進目標③	○適切な保育教諭の配置と教育保育環境の整備		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・入園希望者増加への対応 ・施設環境の整備 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・入園児増加への対応と待機児童解消に向けた施設運営の工夫 ・危機管理体制の整備 ・園内外施設点検、遊具点検の計画的実施 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・入園児の状況に対応した利用教室、保育教諭配置の工夫 ・施設の安全点検と危機管理意識の向上 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて保育職員を加配することにより、受け入れしやすい環境と教育・保育の質の向上並びに安全体制の確保が図られた。 ・危機管理マニュアルの内容を共有し、事故・災害に備えている。 ・定期的な避難訓練・毎日の施設内外点検を継続して実施した。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた計画に基づき取組みが行われ、成果が得られた。 ・保育士の人手不足への早急な対応を望む。 		

推進目標④	○子育て支援事業の充実		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制の充実 ・保健福祉部局や学校、発達支援センターとの連携 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用、相談しやすい子育て支援センター環境の充実 ・育児不安等に的確に対応できる職員体制の充実 ・子育て相談機能と保育・教育相互の緊密な連携 		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の育児不安解消を図る関係機関との連携・協力体制づくりの継続 		
内部評価	A	外部評価	A
内部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉部局と連携し、育児相談等、子育て支援センター機能の情報の提供を図るとともに、親子参加型事業を実施する事で、子育て支援センターの施設利用及び相談事業へ繋がった。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、休園期間を設けたが、一時預かりの受入れや電話相談など、子育て支援の充実に向けた対応が図られた。 ・児童館事業との職員交流については、コロナ禍で実施できなかつたが、状況が改善した際には再開できる。 		
外部評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向けた計画に基づき取組みが行われ、成果が得られた。 		

8 社会教育課所管の施策・事業評価調書

「意欲的な学びと、豊かな心を育む文化の町」

(1) レコード館を中心とした社会教育の推進

推進目標①	○文化協会や関係団体との連携による文化・芸術活動の支援 ○音楽を活用した社会教育事業の推進 ○収集レコードの活用と関係機関と連携した館運営の推進 ○感染症対策に対応した事業活動の充実		
目標達成に向けた計画	・社会教育団体に対する補助金の交付（文化協会、レ・コード館自主企画委員会、レ・コード館ジュニアジャズバンド） ・音楽体験・交流事業（楽器体験講座、昭和音楽大学との連携） ・レコードコンサートの開催（例月、出張）等		
評価の視点	・支援を通じた各団体の活動の継続 ・団体の成果発表機会の提供・町民へのコンサート事業の提供 ・音楽体験・交流事業及びレコードコンサートの実施とレコードジャケットの企画展示 ・コロナ対策を継続しながら事業展開の工夫		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> 町民文化祭「芸能発表会」は3年振りのステージでの出演、「総合作品展」は昨年度に引き続き通常開催で実施した。 自主企画委員会によるコンサート事業は、コロナ対策を講じながら再開し、演歌、クラシックを含め多岐にわたる内容で開催した。 ジュニアジャズバンドは出演活動を一部再開し、「レ・コード館ストリートライブ」、「バンドフェスティバル」に出演し、成果発表の機会を確保できた。 また、教育委員会が実施した生涯学習講座「親子の楽器体験」に指導者として参加し、教える側の視点について自身も学ぶきっかけとなった。 パートナーシップコンサート、アウトリーチコンサートを3年振りに開催した。パートナーシップコンサートでは昭和音楽大学と町内合唱団及び新冠中学校吹奏楽部が共演し、一体感のあるコンサートが実現できた。 新冠中学校吹奏楽部へのクリニックはリモート2回、対面5回の計7回開催することができ、生徒の演奏意欲、技術向上に繋げることができた。 		

	・レコードコンサートは人数制限を設けるなどし、12回実施した。 札幌資料館で出張レコードコンサートを2日間、実施した。 ・レコードジャケット展は『見せる』から『魅せる』を意識しながら夏季、冬季の年間2回実施した。 ・新型コロナウイルスによる制限は段階的に解除しながらも、基本的な感染予防対策を徹底し、概ね計画通りの事業実施に取り組むことができた。
(外部評価の内容)	内部評価のとおり
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体への支援継続 新冠町の文化活動の中心施設としてレ・コード館の更なる有効活用 昭和音楽大学との交流事業の工夫・充実 魅力ある館運営（収蔵レコードを「魅せる・聞かせる」ことの工夫・充実）

推進目標②	○社会教育施設の長寿命化計画の推進		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づく推進 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な施設管理、計画的な修繕 		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度策定した長寿命化計画に基づき、適正に施設管理を行っている。 		
(外部評価の内容)	内部評価のとおり		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・施設毎に検討課題があり、計画に策定した方針に従い、財政状況を考慮しながら改修、改築、統合等を進めていく 		

推進目標③	○小中学校の教育活動への積極的な係わり		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育事業の情報提供及び事業連携 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が求める社会教育事業の提供（地域資源の活用） 		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・人材バンクや社会教育の人脈を活かした講師の紹介等の情報提供を行ない、PTA研究会での利用実績に繋がった。 		
(外部評価の内容)	内部評価のとおり		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域がより一層の連携強化を図るため社会教育がパイプ役を担う 		

(2)社会体育の充実

推進目標①	○スポーツ協会と連携したスポーツ振興と団体支援 ○スポーツ推進委員と連携した軽スポーツ活動の推進 ○健康を視点とした運動教室の充実 ○子どもの体力向上に資する取り組み強化		
目標達成に 向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指導体制の充実及び各種スポーツ競技力の向上への支援 ・スポーツ推進委員によるウォーキング教室の開催 ・トレーニング、ストレッチ教室等の健康スポーツ教室の開催 ・乗馬・サッカー・野球・武道等の子どもを対象とした教室の開催 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育団体に対する補助、スポーツ協会に対する運営面の支援、スポーツ大会出場に係る助成、指導者の資質向上のための研修機会の提供 ・スポーツ推進委員の機能を活かした健康スポーツ（ウォーキング）の指導・普及活動を図り、スポーツに親しむ機会を提供 ・スポーツ協会等のスポーツ団体や町長部局関係課との連携による教室の開催、市民の体力維持向上や健康増進を図る機会を提供 		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育関係団体会員に対する支援 会員数は減ったが、社会体育関係団体と連携したスポーツ振興事業やスポーツ環境の提供等が図られた (目標400名 実績355名) ・スポーツ推進委員と連携した軽スポーツ活動の推進 親子及び成人を対象としたウォーキング教室を年2回計画していたが、クマの出没やコロナ禍により、いずれも中止とした。開催には至らなかったが、今後の事業実施に向け、内容の見直しや方向性等について建設的な話し合いができた。 ・計画に基づいたスポーツ教室の開催 コロナ禍等により中止とした教室もあったが、各世代においてスポーツに親しむ機会を創出し、運動習慣形成や体力向上、健康増進に効果的な内容を実施することができた。 (目標 教室数16種目 参加定員445名 実績 教室数15種目 参加者 322名) 		

(外部評価の内容)	会議等において建設的な協議がされ、その内容を各事業に具現化しながら事業展開できている。
今後の課題と 必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育団体活動の継続的な支援とスポーツ活動の充実 ・スポーツ推進委員による町民への主体的なスポーツ普及の取組 ・多様な主体との連携による健康を視点とした教室の充実及び子どもの体力向上の取組

(3)郷土資料館事業の充実

推進目標①	○学校との連携による学習機会の提供 ○新冠百話を利用したふるさと教育の推進 ○アイヌ文化学習機会の充実 ○郷土文化研究会や関係者と連携した館運営の推進 ○収蔵資料における記録物資料のデジタル保存	・郷土文化研究会との連携～野外展示整備、調査研究活動 ・ネイチャーズクラブとの連携～クラブ20周年記念事業協力
目標達成に向けた計画	・学校の要請に応じた学習指導の実践 ・「新冠百話」を活用したふるさとの提供 ・郷土資料館及びレ・コード館での各種講座および特別展示の開催 ・郷土文化研究会と連携した調査研究活動の継続 ・判官館とアイヌ文化を関連付けた取組みとポロシリ生活館の活用	(外部評価の内容) 内部評価のとおり
評価の視点	・郷土の歴史や自然・文化をテーマとした学習、総合学習指導の協力 ・「新冠百話」を活かしするとの教育資源を現職教員研修において説明、「新冠百話絵本」の大型紙芝居と配布 ・新冠のアイヌ民族自らが子ども達に伝えるアイヌ文化 ・判官館とアイヌ文化の映像記録活動 ・郷土文化研究会やネイチャーズクラブ、他博物館等、関係団体との連携による資料館活動とふるさと学習の充実	今後の課題と必要な取組み ・町民、学校、その他団体のニーズに呼応した展開 ・調査研究活動と普及事業のバランスを考慮する ・ポロシリ生活館を拠点としたアイヌ文化学習 ※未来に向けた施設の在り方を検討（本館、収蔵施設など） ※多様化した活動の見直し、整理～職員体制、関係団体との関わり、他事業との整合性など
内部評価	A	外部評価 A
(内部評価の内容)	・学校と資料館が連携した学習提供 8回 ・新冠百話絵本の配布 新冠小学校37冊 朝日小学校4冊 ・現職教員研修【新冠百話に見るふるさと新冠】 参加者10名 ・特別展・移動展 【開設から150年～新冠御料牧場を振り返る展】 （新ひだか町博物館連携） 郷土資料館（11/4～12/3） レ・コード館（12/9～28） ・ふるさと・再発見講座 【なつかしい写真から知る昔～子ども座談会】参加者14名 【そうだ山へ行こう！IN ポロシリ生活館】参加者47名 （図書プラザ連携） 【御料牧場関連史跡めぐり】参加者26名（新ひだか町博物館連携） 【シャクシャインの戦いと新冠】 参加者30名 ・【判官館の環境とアイヌ文化】DVDの完成、配布	

(4)図書プラザ事業の充実

推進目標①	○利用者ニーズの把握と利便性を重視した運営 ○各種企画事業の実施による図書プラザの利用促進 ○アニマル号の運行形態と利用拡大への工夫		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・関係図書館との連携によるレファレンスの充実、夜間の開設 ・読書週間、児童生徒の夏休み、冬休み期間の特別事業の実施 ・定期的なアニマル号の運行と図書プラザ利用困難者に対する支援 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日の夜間開設のほか、利用者の要求に対応したサービスの提供（リクエスト、貸出予約、レファレンスのための他館からの資料調達） ・特別事業、企画展示等による来館者の拡充と利用促進 ・認定こども園、小中学校及び社会福祉施設への移動図書館車の定期運行、高齢者や乳幼児を抱える個人宅の訪問 		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握と利便性の向上 リクエスト対応処理：153件 他館連携（相互貸借）対応：81件 ・移動図書館車アニマル号の運行 町内施設等定期運行先：8カ所、個人宅等訪問：3カ所 ・感染症対策としての臨時休館措置を取らなかつたため、前年度と比較し、開館日数は25日増、来館者数は734名増加した。 ・引き続き感染症対策を講じながらの事業実施ではあったが、判官館森林公園・ボロシリ生活館において、郷土資料館事業『ふるさと・再発見講座』と連携し、『あおぞら図書館事業』を開催するなど、新たな環境での読書啓発事業を展開した。 ・前年度導入した図書管理システムを活用し、予約資料のメール通知サービスの利用も開始し、より利用しやすい環境整備に努めている。 		
(外部評価の内容)	内部評価のとおり		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの蔵書検索や予約など利用サービスの周知 ・乳幼児、子育て世代、小中高生、成人のあらゆる世代に対応した居場所づくり ・移動図書館車の利用拡大への取組 		

推進目標②	○子どもの読書習慣定着に向けた取組 ○学校図書室との連携		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート・セカンドブック事業の実施、読書記録手帳の活用 ・学校図書室への支援 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業等を通じた乳幼児及び保護者への読書推進、・読書記録手帳を活用した子どもの読書意欲向上 ・小中学校への長期大量図書貸出（朝読・読書習慣定着への支援） ・学校図書室への環境整備、図書購入支援 ・認定こども園でのおはなし会、小中学校への授業支援 		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・読書習慣定着に繋がる取組 ブックスタート事業 実施：20人 セカンドブック事業 実施：29人 ・学校等への読書環境支援 新冠小：年間約2,400冊 朝日小：年間約1,900冊 新冠中：年間約1,350冊 ・図書担当教諭との連携、授業支援、購入予定図書の選書サポート ・読書記録手帳の普及 読書記録の使い方説明のため学校訪問（朝日小・冠小1年生） 読書記録手帳配付：年間約60冊 		
(外部評価の内容)	内部評価のとおり		
今後の課題と必要な取組み	・学校・地域・家庭に対する読書活動を展開するための支援の継続、 新冠町第3次子どもの読書活動推進計画に基づく子どもの読書環境の整備		

(5)青少年教育の充実

推進目標①	○ふるさとを感じる体験型事業の推進 ○児童館機能を活用したクラブ・教室の各事業の機能充実 ○青年団体の組織強化と事業継続に対する支援		
目標達成に向けた計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新冠の自然や資源を活用した「自然体験教室」の開催 ・学校・地域との連携による児童の安全安心な活動場所の提供及び体験活動等の提供 ・新冠町青年団体協議会及び新冠町青年団体連絡会議に対する支援 		
評価の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体との連携・工夫を図り事業を実施 ・放課後子ども教室における体験事業の充実、学習支援を図る子ども未来塾の充実 ・事業運営推進に向けた団体に対する補助金交付と育成指導 		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した自然体験教室の実施 コロナ禍により自然体験教室は4事業中2事業を中止としたが、実施できた事業については、子ども達に充実した体験機会を提供することができた。 ・安全安心な活動場所の提供、事業の工夫・充実 コロナ禍の中、感染対策を講じながら安全安心な活動場所の提供を行うことができた。また、多くの体験事業の提供を図ることができた。 ・コロナ禍における感染対策を講じた事業の支援 ふるさと盆踊りの実施（飲食を除いて開催） ろうそく出せ イルミネーションフェスタの実施 二十歳を祝う式典・成人の集いの実施 		
(外部評価の内容)	内部評価のとおり		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験活動の充実と確保 ・継続した安全安心な活動場所の確保 ・後継者育成も含めた団体活動の支援 		

(6)成人教育の充実

推進目標①	○ライフステージに応じた学習機会の充実 ○学校と連携した家庭教育事業への支援 ○保健福祉と連携した高齢者・女性への学習機会の創設		
施策に対する計画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習機会の提供 ・家庭教育に関する学習機会の提供 ・いきいき大学及び女性コミュニティ活動との連携協力 		
評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスワンセミナー及び生涯学習講座の開催 ・町民の自主学習に対応した人材バンク派遣事業の実施 ・いきいき大学との連携事業の実施及び女性コミュニティ活動における連携 		
内部評価	A	外部評価	A
(内部評価の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスワンセミナー「応援が秘める力とコミュニケーションが生む力（講師 ロコ・ソラーレ）」を開催 ・家庭教育事業は中学校でのPTA等を対象とした研修会を開催 ・生涯学習講座は全4回すべて通常開催で実施 ・いきいき大学における事業の合同開催 全7回開催のうち2事業を保健福祉課と合同開催 バス研修を再開（白老町ウポボイ） ・女性コミュニティ会議事業を通じた情報提供（SNS等）や防災、健康増進等の事業を通して、女性のまちづくりへの参画を促進 		
(外部評価の内容)	内部評価のとおり		
今後の課題と必要な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・町民への様々な学習機会の提供のための講師選定及び内容の充実 ・町内講師の発掘や活用及び解りやすい事業周知 ・新生活スタイルを取り入れた事業展開（リモートの活用等） ・保健福祉課との連携した取組の推進（健康増進、介護予防） 		

「生きる力を育み ふるさと愛を深める 新冠の教育」
～明日も行きたい学校・働きたい学校・帰るのが楽しみな家庭・仲間と共に心はずむ地域～

『知・徳・体』の調和と、たくましく生きる力の育成

意欲的な学びと、豊かな心を育む文化の町 新冠

最重点目標

感染症対策の徹底による教育活動の推進、学習指導要領の趣旨を生かした教育課程の推進、円滑な小学校統合に向けての計画的な推進、幼小中一貫教育の具体化方針と交流活動の推進

最重点目標

『町民憲章とReの精神』を意識した社会教育の推進
感染症対策を踏まえた各種事業活動の推進